



徳島大学病院形成外科

山下 雄太郎 特任助教



リンパ浮腫外来で治療

リンパ液の流れが阻害されて脚や腕などがむくむ疾患「リンパ浮腫」は、がん手術で転移を防ぐためにリンパ節を切除した際に多く出現します。これまで

でも新しい治療法を提供できるよう、リンパ浮腫外来を開設しました。

リンパ浮腫の治療は、手術以外の理学療法▽手術による外科的治療——の二つに大別されます。理学療法ではまず、弾性包帯や弾性ストッキングによる圧迫療法を中心に行い、浮腫をある程度改善させます。同時に運動療法やスキンケア指導など、

リンパ浮腫の治療は、手術以外の理学療法▽手術による外科的治療——の二つに大別されます。理学療法ではまず、弾性包帯や弾性ストッキングによる圧迫療法を中心に行い、浮腫をある程度改善させます。同時に運動療法やスキンケア指導など、

し、意向に合わせて手術を行います。外科的治療の代表的な手術に「リンパ管静脈吻合手術」があります。リンパ管と静脈をつなげてリンパ液を正常な静脈に返してあげることで、リンパ浮腫を改善させる手術です。この手術で浮腫の改善を見込める症例もありますが、ある程度改善しても、再び詰まることがあります。効果が出ない人や重症

日常生活での注意事項について説明します。場合によっては、リンパ浮腫療法士が在籍し、マッサージの施術を行っている医療機関をご紹介します。

このような理学療法の後、追加の治療を希望する患者さんには外科的治療についてご説明

の人は、リンパ節移植など別の方法も検討する必要があります。

「リンパ管静脈吻合手術」の他にも、いろいろな治療法が開発されています。ただ、全ての患者さんに効果が期待できるわけではありません。効果の程度も個人差があります。現段階では、圧迫療法が不要になるほどの効果は期待できない場合がほとんどです。今後も個人差の要因や他の有効な治療法を探し、万人に一定の効果が出るような治療法を開発していきたいと考えております。